

# ボランティアの皆さん いつもありがとうございます！

ボランティア活動を通し、誰かの役に立つことが嬉しく自分にとって「生きがい」になっているという声をたくさん聞きます。しかし、コロナ禍ボランティア活動再開のタイミングがつかめず、先行きの見通しがつかない時期もありましたが、模索しながら活動を再開した団体や個人ボランティアも多くいます。

改めて「ボランティア活動の良さや課題」について考えます。



## ボランティア

### ボランティア活動の良いところ

- ◆ ボランティアを通して人の役に立てるだけではなく、「仲間づくり」や「居場所」の場となり、社会と関わることができる
- ◆ 楽しさが見つかるキッカケづくりにもなる
- ◆ 自分の「好きなこと」「得意なこと」を活かせる
- ◆ ボランティア活動に「大きい」「小さい」は関係なく、顔の見える関係がつけれる
- ◆ 今、何が必要とされているのかを考えながら、自分の意志で地域にとらわれず広い範囲で活動できる
- ◆ お金では得られない出会い、発見、喜びや感動が得られる

### 今後の課題と改善について

- ◆ 活動の担い手不足  
→ 参加のキッカケづくりを増やす
- ◆ 会員の高齢化に伴う活動の縮小  
→ 部分的なお手伝いをお願いする  
(車出しをしてくれる人、片づけに来てくれる人、写真を撮ってくれる人…)
- ◆ 他の団体と一緒にコラボする
- ◆ 福祉教育や生涯学習に協力する



私たちボランティアの活動が、地域の支えあいになり、巡り巡って繋がり潤滑油としての役割を果たしているかもしれません。また、顔の見える、触れ合える交流が、孤立を防ぎ安心を作る基盤となり、防犯防災にもつながる小さな歯車となって地域のセーフティーネット(社会的安全網・安全策)としての役割を果たしながら社会へとつながっていきます。

### ボランティア活動をするとき大切なこと

- ◆ できることから、無理をしない
- ◆ 約束・秘密を守ろう
- ◆ 安全対策に注意しよう
- ◆ 謙虚になろう
- ◆ 周りの理解と協力を得よう(まずは家族から)
- ◆ 相手のニーズ(求めていること)にあわせ活動しよう
- ◆ 学びを大切に、自分を成長させよう

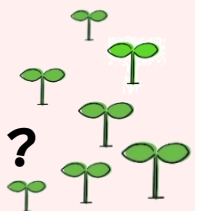


困ったときは助け合う。この助けあいこそがボランティアの始まりです。ボランティアは特別なスキルがなくても始められます。また、活動に大きい・小さいはなく「社会の役に立ちたい」という思いは、どれも尊いボランティア精神です。

ボランティア活動は、誰かを助けるだけでなく、自分自身も豊かにする行動です。小さな1歩が、社会全体をより良い方向に導く大きな力となります。身近な顔の見える関係づくり、ボランティアだからできる縁づくり、いろいろな人と手をつなぎ、誰もが自分らしく豊かに暮らせる社会を目指して「できること」を考え行動していきましょう。



## 「誰かのために何かをしたい！」 私たちと一緒にボランティア活動してみませんか？



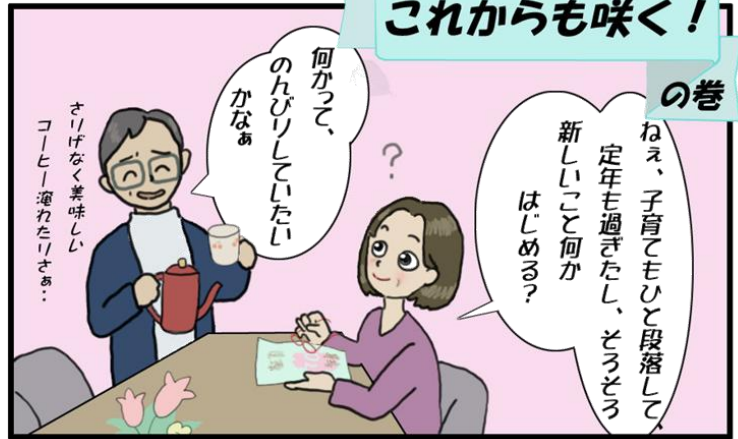
### 編集後記

過去の災害を振り返るとボランティアの重要性を改めて感じます。人と人との繋がりがますます大切になるなかで、その絆をしっかり繋いでいくために私たちにできることは、すべての世代が共に繋がり、楽しく活動ができるための場を作り、若い世代が活動に参加しやすい形を作ることだと思います。



# はらっぱ

第51号 2025年2月3日発行  
 編集・発行  
 佐倉市ボランティア連絡協議会（V連）  
 はらっぱ編集委員会  
 〒285-0013 佐倉市海隣寺町8-7  
 佐倉市ボランティアセンター内  
 TEL 043-484-6198 FAX 043-486-2518



作画・大橋カズミ

## 「V連」って知っている？

佐倉市ボランティア連絡協議会（V連）は、佐倉市社会福祉協議会にボランティア登録している団体や個人の中で、V連の趣旨に賛同した団体・個人ボランティアで運営する組織です。会員同士の横のつながりを大切に、様々な行事を通して交流や情報交換をしています。1つの団体、一人のボランティアではできないことも、連携することで新たな活動の幅を広げています。ぜひ一緒に活動しましょう。



V連ホームページ